

高い増収率 潜在力期待

2018年度に外国人株主が増えた企業

順位	社名	業容	外国人株主の増加数	18年度の最終損益
1	マネーフォワード	会計ソフト開発	89社	-8億円
2	北の達人コーポレーション	健康食品販売	72	13
3	ラクス	クラウドサービス	65	10
4	ペプチドリーム	医薬品関連製造	62	23
5	オープンドア	旅行情報サイト運営	59	11
6	ストライク	M&A仲介	57	9
7	サンバイオ	再生細胞薬の開発	53	-29
8	弁護士ドットコム	法律相談サイト運営	49	3
9	RPAホールディングス	ソフトウェア開発	45	6
10	イー・ギャランティ	信用リスク保証	44	17
10	エニグモ	個人輸入代行	44	15
12	PKSHA Technology	AI開発	43	6
13	夢の街創造委員会	ネット飲食配達	42	6
14	HANATOUR JAPAN	インバウンド専門旅行	39	6
14	エリアクエスト	ビル経営支援	39	3
16	シグマ光機	レーザー関連部品製造	35	10
17	デジタルアーツ	閲覧制限ソフト開発	34	20
18	インターアクション	光源装置製造	33	7
19	シンバイオ製薬	医薬品開発	32	-28
20	インフォマート	食材の電子取引市場	31	16
21	クロスフォー	宝飾品製造	28	1
21	イトクロ	学習塾検索サイト	28	11
21	フィックスターズ	ソフトウェア開発	28	8
21	テリロジー	通信機器販売	28	2
21	アサクス	不動産担保ローン	28	28

日本経済新聞社が売上高100億円以下の上場企業「NEXT1000」を対象に2018年度に外国人株主数を増やした企業を調べたところ、上位にはフィンテックやバイオ関連、訪日観光関連などの企業が入った。売上高の成長期待の高さが運用会社などの海外投資家をひき付けている。首位はクラウドを活用した会計ソフトを手掛けるマネーフォワードだった。

調査の概要 直近決算期の売上高が100億円以下の上場企業986社を対象（決算期変更などを除く）。2018年度（18年4月期～19年3月期）の外国人株主数を1年前と比べた。18年度に上場した企業や第三者割当増資をした企業は除いた。10月27日時点。

	社名	業容	18年度の増収率
1	マネーフォワード	会計ソフト開発	58.5%
2	北の達人コーポレーション	健康食品販売	57.1
3	ラクス	クラウドサービス	36.4
4	ペプチドリーム	医薬品関連製造	31.3
5	オープンドア	旅行情報サイト運営	23.9
6	ストライク	M&A仲介	21.1
7	サンバイオ	再生細胞薬の開発	51.2
8	弁護士ドットコム	法律相談サイト運営	35.1
9	RPAホールディングス	ソフトウェア開発	95.4
10	イー・ギャランティ	信用リスク保証	9.2
10	エニグモ	個人輸入代行	17.6